

令和2年度

学校要覧



宮若市立小中一貫教育校



宮若市立宮若西小学校

TEL 0949-52-0058 FAX 0949-52-0080
e-mail:miyawakanishi.syo@city.miyawaka.fukuoka.jp



宮若市立宮若西中学校

TEL 0949-52-2802 FAX 0949-52-2810
e-mail:miyawakanishi.chu@city.miyawaka.fukuoka.jp

〒822-0111 福岡県宮若市金丸417番地1

1 一貫教育校の教育方針

(1) 確かな学力

小中一貫教育9年間にわたり、児童生徒が主体的に取り組む学習を目指すとともに課題に対する意識や活動が連続発展する系統性のある授業を通して、児童生徒の学習意欲の向上と未来にチャレンジすることのできる確かな学力を育成する。

(2) 豊かな心

道徳科においては、道徳教育の要として各教育活動における内容を補充・深化・統合させる。各教育活動における道徳教育は、その特質に応じて意図的、計画的に推進し、相互に関連を図るようにする。

特に、小中一貫教育校のよさを生かし、異年齢集団での活動や児童生徒の交流等とおして、命を大切に、自他を敬愛し、郷土を愛する児童生徒を育成する。

(3) 健康と体力

保健体育科（中）・体育科（小）の授業と保健室の健康センター機能を中核にするとともに部活動の充実と地域におけるスポーツ活動と連携し、心身ともに逞しい児童生徒を育成する。

2 一貫教育校の特色ある教育活動

(1) 英語教育

新学習指導要領に基づき、小学校の外国語活動及び外国語科の小中一貫カリキュラムの編成と実施に努めるとともに、福岡県重点課題研究（3年次）の研究内容の充実を図り、グローバル化に対応できる高度な英語力を育成する。

(2) キャリア教育

体験活動を重点としたキャリア教育の一貫カリキュラムによって、自己の役割や自分らしさに気づき、職業についての基礎的な知識・技能、勤労を重んずる態度を育て、社会的に自立する能力を育成する。

3 教育区分及び教育課程

(1) 発達段階に応じた4期の教育区分

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
区分	前期(I)		前期(II)		中期			後期	

(2) 教育課程

学習指導要領に基づき各教科、領域等、一貫した教育課程を編成し実施する。

4 教育目標

豊かな心と広い視野を持ち、未来にチャレンジする児童生徒の育成

5 沿革

1 教育方針

5 沿革

(1) 宮若市立宮若西小学校の沿革

- 平成29年 4月 宮若市立宮若西小学校開校
宮若市立小中一貫教育校わかみや校
- 平成29年11月 文科省「外国語強化地域拠点事業」最終報告会
- 平成30年 4月 小中一貫「わかみや校・アフタースクール」発足
- 平成30年11月 市教委指定委嘱3年次小中一貫教育研究発表会
- 平成31年 2月 福岡県児童画展 奨励賞受賞
- 令和元年 8月 鞍手地区教育振興会教育論文 学校賞受賞
- 令和元年11月 県重点課題研究中間報告会（研究指定2年次）
- 令和2年 1月 福岡県児童画展 RKB毎日放送賞受賞

(2) 宮若西小学校再編前の沿革

① 宮若市立笠松小学校

- 明治22年 4月 上有木村・四郎丸村両小学校簡易科を廃止・併合 笠松尋常小学校開校
- 平成29年 3月 閉校

② 宮若市立若宮小学校

- 明治19年 4月 金丸・金生両校を廃止 福丸尋常小学校開校
- 平成22年 4月 若宮南小学校と統合 新生宮若市立若宮小学校
- 平成28年 4月 小中一貫教育校 宮若市立若宮小学校開校
- 平成29年 3月 閉校

③ 宮若市立山口小学校

- 明治25年 4月 畑小学校簡易科を本校へ併合、竹原より独立 山口小学校開校
- 平成29年 3月 閉校

④ 宮若市立若宮西小学校

- 明治25年 4月 竹原・黒丸両校を廃止 中尋常小学校開校
- 平成29年 3月 閉校

⑤ 宮若市立吉川小学校

- 明治22年 4月 脇田・下村・湯原（日吉）、小伏各小学校を統合 脇田小学校開校
- 平成29年 3月 閉校

2 特色ある
教育活動

(1) 宮若市立宮若西中学校の沿革

- 平成24年 4月 宮若市立宮若西中学校開校
- 10月 宮若市立小中一貫教育校新第2^クラウド^ク工事開始
- 11月 宮若市立小中一貫教育校新築工事開始
- 平成27年10月 宮若市立小中一貫教育校体育館空調工事開始
- 平成28年 4月 宮若市立小中一貫教育校
宮若市立宮若西中学校開校
- 平成29年3月 宮若市立小中一貫教育校新第1^クラウド^ク テニスコート
部室棟完成
- 4月 宮若市立小中一貫教育校わかみや校
- 平成29年11月 文科省「外国語強化地域拠点事業」最終報告会
- 平成30年 4月 小中一貫「わかみや校・アフタースクール」発足
- 平成30年11月 市教委指定委嘱3年次小中一貫教育研究発表会
- 令和元年11月 県重点課題研究中間報告会（研究指定2年次）

3 教育区分
及び教育課程

(2) 宮若西中学校再編前の沿革

① 若宮中学校の沿革

- 昭和38年 5月 福丸中学校・吉川中学校 統合学校名「若宮町立若宮中学校」
- 昭和40年 4月 新校舎へ移転
- 平成17年 4月 旧西鞍手高校跡に移転
- 平成18年 2月 宮若市誕生 学校名「宮若市立若宮中学校」
- 平成24年 3月 閉校

② 宮田西中学校の沿革

- 昭和31年 4月 宮田町立宮田中学校分校開校（仮校舎満之浦小学校で開校式）
- 昭和63年 5月 新校舎完成
- 平成18年 2月 宮若市 誕生 学校名「宮若市立宮田西中学校」
- 平成24年 3月 閉校

4 教育目標

6 小中合同部会・委員会

一貫教育校経営・運営の効率化と充実を図るため、次の委員会を組織する。

- (1) 一貫教育校運営委員会（毎週水曜日1校時）
 目的： 一貫教育校の運営に関する事項（組織運営、乗り入れ授業、行事、部活動等）について審議を行うとともに各委員会等の調整を行う。
 構成： 校長 教頭 教務担当
 ※ 必要に応じて各主任、主事などを交えた拡大運営委員会を開催する。
- (2) 各期（前期・中期・後期）部会
 目的： 教育区分の教育活動目標達成に向けた審議及び情報交換を行う。
 構成： 各期所属職員
- (3) 小中生徒指導委員会（毎月第1週の火曜日1校時）
 目的： 一貫教育校の生徒指導に関する事項（生活規律、生徒指導上の情報交換等）について共通理解を図り、全職員との調整を行う。
 構成： 校長 教頭 生徒指導主事 補導 児童生徒支援担当 中学校生徒指導委員
- (4) 小中研究推進委員会（外国語教育）
 目的： グローバル化に対応した教育環境づくりを進め、英語教育の充実を図り、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を確実に養う研究を推進する。
 構成： 校長 教頭 教務担当 英語専科教員及び英語教育研究推進委員
- (5) 小中特別支援教育推進委員会（毎月1回）
 目的： 特別な支援を要する児童生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じた指導及び支援を協議し、全職員との調整を行うとともに、小中のスムーズな移行を図る。
 構成： 校長 教頭 教務担当 特別支援教育コーディネーター 特別支援学級担任 人権教育担当
- (6) キャリア教育推進委員会
 目的： キャリア教育の充実を図り、児童生徒の職業観と勤労観を育み、社会の中で自らの役割の価値や自分らしい生き方を見出していく能力を高める研究を推進する。
 構成： 校長 教頭 教務担当 研究主任 キャリア教育担当

7 学級編制・職員構成

(1) 学級編制（人数）

令和2年4月1日現在

学年	組	男	女	合計	学年	組	男	女	合計
1	1	16	13	29	7	1	15	14	29
	2	17	12	29		2	13	15	28
	3	16	12	28		3	15	14	29
2	1	14	15	29	8	1	16	10	26
	2	14	14	28		2	17	10	27
	3	13	14	27		3	17	10	27
3	1	14	15	29	9	1	17	14	31
	2	12	15	27		2	17	13	30
	3	12	15	27		3	17	14	31
4	1	13	17	30	よつば	1	2	3	5
	2	13	16	29	合計	146	117	263	
	3	14	15	29					

(2) 職員構成（人数）

職名	小学部	中学部
校長	1	1
教頭	1	1
主幹教諭	1	1
教諭・講師	25	18
県事務職員	1	1
養護教諭	1	1
栄養教諭	1	
市職員	8	3
合計	39	26

8 学校行事

(4月1日現在の予定)

月	行 事
4	離任式 赴任式 始業式 入学式 対面式 発育測定 部活動紹介(7～9年) 全国学力状況調査(6,9年) 暴力団排除教育(7～9年) ふれあい教室(7年) 授業参観 P T A総会 交通安全教室 1年生を迎える会歓迎遠足(1～6年)
5	自然教室(5年) 中学校体育祭(7～9年)
6	学力分析テスト(7～9年) 教育相談 Eウィーク 期末考査(5～9年) 火災避難訓練 福岡県学力調査(5,7,8年) 県重点課題研究連絡協議会
7	三者面談(7～9年) 薬物乱用防止教室(7～9年) 学級懇談会(1～6年) 大掃除 終業式
8	出校日 平和授業 始業式 サマースクール 補充学習
9	夏休み課題テスト 職場体験学習(8年) 小学校運動会(1～6年)
10	遠足(1～6年) 学力分析テスト(9年) 中間考査 Eウィーク(1～6年) 文化祭(6,7～9年) 鞍手地区連合音楽祭 修学旅行(6年)
11	学力分析テスト(9年) Eウィーク(7～9年) 教育相談 期末考査(5～9年) 不審者避難訓練 県重点課題研究最終報告会
12	三者面談 宮若市統一学力標準テスト(1～6年) 修学旅行(8年) 生徒会認証式 個人懇談会(1～6年) 終業式 大掃除 生徒会リーダーズ研修
1	大掃除 始業式 冬の課題テスト(7～9年) Eウィーク土曜授業(7～9年)
2	新入生説明会(新1・7年) 期末考査(5～9年) 地震避難訓練 Eウィーク6年生を送る会(1～6年)
3	9年生を送る会(7～9年) 学力分析テスト(7,8年) 同窓会入会式 卒業証書授与式 保護者会(7,8年) 大掃除 修了式

9 英語教育

- (1) 小学校における英語教育の早期化・教科化
 - ①第 1,2 学年において、年間 22 時間程度の外国語活動（裁量）を実施する。
 - ②第 3,4 学年において、年間 35 時間程度の外国語活動を実施する。
 - ③第 5,6 学年において、年間 70 時間程度の教科英語を実施する。
 - ④中学校の目標を踏まえた学習到達目標（CAN-DO 形式）及び指導計画を活用する。
- (2) 中学校英語教育の高度化
 - ① 4 技能を統合化する言語活動を工夫する。
 - ②英語で進める授業を基本とする。
 - ③ 4 技能に係る学習到達目標（CAN-DO 形式）及び指導計画を活用する。
 - ④教材の共有化を図りながら、スタートカリキュラムを効果的に活用する。
 - ⑤パフォーマンス評価の方法・内容の充実を図る。
 - ⑥ Small-Talk を帯活動に位置づけ、話すこと（やりとり）の能力を少しずつ身につけることができるようにする。
- (3) 小中一貫した教育課程の編成及び指導・評価方法等の工夫改善
 - ①小中が連携した年間指導計画の修正を行う。
 - ②英語部会を更に機能させ、小中連携の視点を大切にした指導方法の工夫改善に努める。
 - ③英語に関する意識調査及び英語能力判定テスト等外部専門機関との連携による評価を継続する。
- (4) その他の取組
 - ①児童生徒が A L T や英語が堪能な地域の人材と英語でコミュニケーションを図ることができる英語サロンの運営を工夫し、日常的に英語に触れることができるようにする。（週 1 回・・・外国語委員会担当）
 - ②児童生徒のための英語掲示や英語図書を充実させる。
- (5) 教職員の交流
 - ①英語部会を定期的に開催し、児童生徒の実態把握及び研究内容の共有化を図る。
 - ②授業参観や交流授業を通して、相互の学習内容や教材等についての理解を深め、指導方法の工夫改善に努める。
 - ③年間計画に基づいて授業研究会を実施し、目指す児童生徒像を共通理解する機会とする。

10 乗り入れ授業

- (1) 目標
 - 小学校教員と中学校教員が協議して、児童生徒に対して教科の専門性を活かし指導を行う事を通して、教科の本質をとらえた授業を展開し、授業が楽しく分かりやすいものになるとともに、学習内容の習得と定着を図る。
 - 児童の中学校進学への不安軽減を図り、教科担任制への移行をスムーズにして中 1 ギャップの解消を図る。
 - 小中学校教員が一貫した指導を行うことを通して、相互の指導力向上を図る。
- (2) 実施内容・教科・内容
 - 実施教員 中学校教員が、全員 1 回実施する。
 - 実施学年 中学校教員と小学校教員が 5・6・7 年生を中心として乗り入れ授業を実施する。
- (3) 実施教科及び内容
 - 各教科において、児童生徒の学力の定着が厳しい単元及び学習内容で実施する。また、その単元及び学習内容を一貫カリキュラムの中に明記する。
 - 音楽においては、歌唱指導において乗り入れ授業を実施する。
 - 図画工作においては、デッサンや色使いなどについて乗り入れ授業を実施する。
 - 保健体育においては、ラジオ体操・陸上競技・器械体操の単元で実施する。
 - 中学校教員の持ち時数（上限約週 20 時間）と教員数及び時間割等の関係により実施教科については、年度当初に調整を行う。
- (4) 評価
 - 単元全体を通じた授業を行うのではなく、単元の一部を受け持つことから、単元の評価については、小学校教員と中学校教員が協働して行う。

11 校時表

小学部			中学部		
児童登校	8:20		生徒登校	8:20	
朝の会	8:20	～ 8:30	朝読書	8:20	～ 8:30
朝の活動	8:30	～ 8:45	学級活動	8:30	～ 8:40
1校時	8:50	～ 9:35	1校時	8:45	～ 9:35
2校時	9:40	～ 10:25	2校時	9:45	～ 10:35
中休み	10:25	～ 10:40			
3校時	10:45	～ 11:30	3校時	10:45	～ 11:35
4校時	11:35	～ 12:20	4校時	11:45	～ 12:35
給食	12:20	～ 13:05	給食	12:35	～ 13:05
昼休み	13:05	～ 13:50	昼休み	13:05	～ 13:50
清掃活動	13:50	～ 14:05	清掃活動	13:50	～ 14:05
5校時	14:10	～ 14:55	5校時	14:10	～ 15:00
6校時	15:00	～ 15:45	6校時	15:10	～ 16:00
帰りの会	15:45	～ 16:00	学級活動	16:00	～ 16:15
児童下校	16:05		生徒下校	16:30	

6小中合同
部会・委員会
8 学校行事
9 英語教育
11校時表

12 コミュニティ・スクール「わかみや校」

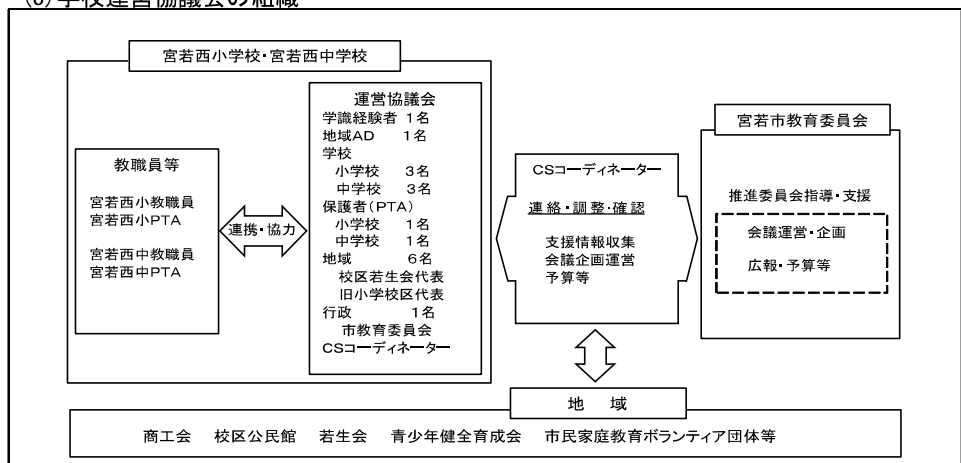
(1) 目的

- 保護者や地域の方の様々な意見を的確に学校教育に反映させ、地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。
- 学校運営協議会を通じて、保護者や地域の方がそれぞれの役割を認識し「地域の子どもは地域で育てる」を基本理念として、学校経営に協働することにより、学校・家庭・地域・社会が一体となってより良い教育の実現に取り組む。

(2) 学校運営協議会の役割

学校運営協議会は、コミュニティ・スクール「わかみや校」において、地域・家庭・学校がともに行う協働の機軸となる会である。学校運営協議会の役割は、学校が行う教育活動の運営や支援を行う応援者となることにより、教育活動をより充実させ、地域の子どもを地域総掛かりで育てるために、三者がどのように連携・協働していくかを考え実現させる役割を担う。

(3) 学校運営協議会の組織



(4) 支援委員会

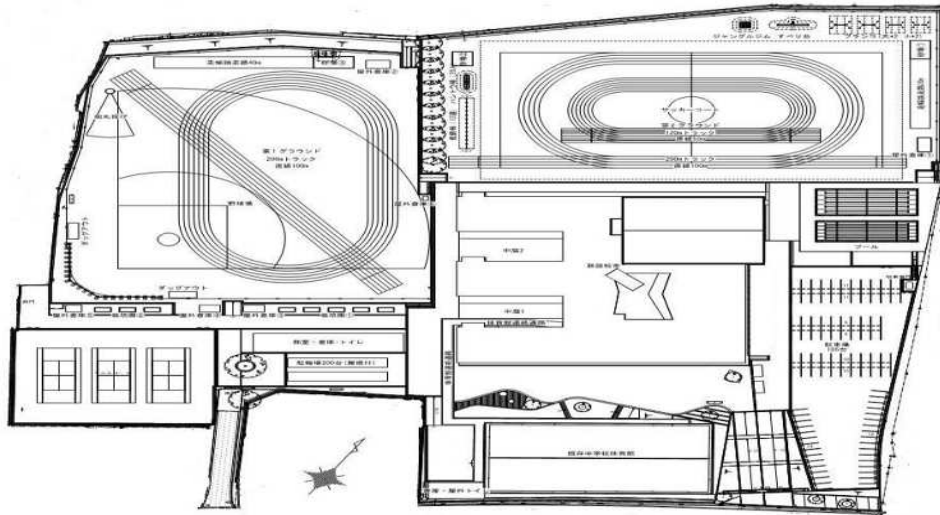


12
コミュニティ
スクール

7 学級編制
職員構成

10
乗り入れ授業

13 校地平面図



14 校舎平面図

